

伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁による採捕尾数

片岡 佳孝

1. 目的

伊庭内湖周辺では、ホンモロコの産卵保護を目的として刺し網などホンモロコ漁業の琵琶湖海区漁業調整委員会指示が発出された。

禁漁は平成24年度から行われており、期間は平成24年度が4月1日から同30日、平成25年度と26年度が4月16日から5月15日であった。しかし、これらは漁業者を対象としたもので遊漁者は対象ではない。

伊庭内湖周辺のホンモロコの資源管理のためには、遊漁を含めた管理策が必要と考えられる。そのため、遊漁実態を明らかにする必要があり、平成24年度から遊漁による採捕尾数の推定調査を行ってきた。本年度についても、継続調査を行ったので報告する。

2. 方法

遊漁（釣り、投網、たもすくい）によるホンモロコ採捕尾数の推定は、2段階抽出により行った。調査日を1次抽出単位、採捕状況の聞き取りを行った遊漁者を2次抽出単位とした。採捕率や遊漁者数は時期ごとに変化したため、推定は月ごとに分けて行った。推定では、釣りは8時間、投網とたもすくいはそれぞれ4時間行うと仮定して計算した。

推定に必要な情報は、聞き取り調査により行った。聞き取りでは、遊漁者数の把握を行ったのち、無作為に選んだ遊漁者から聞き取りまでの採捕時間と採捕尾数を聞き取った。遊漁者数は、遊漁者数が多くなる午前10時から午後2時に目視により計数した。調査期間は、2015年3月31日から5月27日であった。

3. 結果

調査日における総遊漁者数は、1人(5月27日)から167人(3月31日)で推移した。釣りは3月31日が最も多く(166人)、その後減少

し、4月18日に再び増加(119人)したのち、5月には一桁の人数となり終息した。たもすくい、投網は4月以降増加した。

遊漁による推定採捕尾数は、約11万尾(109,581尾)となった。内訳は釣り約5.8万尾(57,966尾)、たもすくい2.1万尾(21,375尾)、投網3万尾(30,240尾)となった。

釣りによる推定採捕尾数は、平成26年度と同程度(56,621尾)であったが、たもすくいと投網については、平成26年度(投網55,342尾、たもすくい121,777尾)より大幅に減少した。

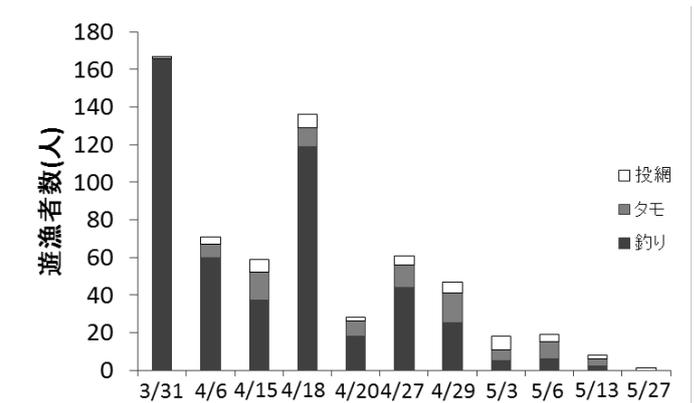


表1 遊漁によるホンモロコの推定採捕尾数

釣り	57,966
投網	30,240
たもすくい	21,375